

実務修習支援システム

(e-ラーニングシステム)

利用マニュアル

日本弁理士会

平成 21 年 12 月



はじめに

この利用マニュアル（以下「本マニュアル」という。）には、平成 21 年度実務修習を受講するための「実務修習支援システム」（以下「本システム」という。）の操作方法が説明されています。本システムを用いて平成 21 年度実務修習の e-ラーニング研修の受講および集合研修も含めた受講状況の確認をすることができます。

〔問合せ先〕

●平成 21 年度実務修習の内容に関するお問合せ先

名 称 : 日本弁理士会 研修課
電 話 : 03-3519-2360 FAX : 03-3581-1205
E-mail : jitsumu-shushu@jpaa.or.jp
受付時間 : 9:00～17:00（祝祭日を除く月～金）

●本システムに関するお問合せ先

名 称 : e-ラーニング研修ヘルプデスク
電 話 : 0422-36-9009 FAX : 0422-36-5533
E-mail : helpdesk@jpaa-elearning.net
受付時間 : 10:00～12:00, 13:00～18:00（祝祭日を除く月～金）
・ e-ラーニング全般に関するお問い合わせに対応いたします。
・ お問い合わせ内容によって、回答までに時間を要することがあります。

● I D・パスワードの再発行

名 称 : 日本弁理士会 研修課
電 話 : 03-3519-2360 FAX : 03-3581-1205
E-mail : jitsumu-shushu@jpaa.or.jp
受付時間 : 9:00～17:00（祝祭日を除く月～金）
・ お問い合わせは、できるだけ FAX または E-mail をご利用ください。
・ 上記宛先にお名前（フルネーム）、受講者 NO. とユーザ I D・パスワード再発行希望の旨をご連絡ください。受付後、3～4 日間お時間を戴きます。

目次

第一編 本システムの操作方法.....	4
第一章 本システムへのログイン	4
1. 基本事項.....	4
(1) ログインに必要なID、パスワード	4
(2) 実務修習の受講状況を確認できる期間.....	4
(3) e-ラーニング配信期間.....	4
2. 「実務修習支援システム」へのログイン	5
(1) ログイン	5
(2) パスワードの変更.....	7
(3) 初めて本システムにログインした場合.....	8
(4) 前回正常にログアウトしなかった場合のログインエラー表示.....	9
(5) 実務修習期間外の場合のログインエラー表示	10
第二章 システムの操作方法	11
1. 「お知らせ」画面	11
(1) ユーザ情報	11
(2) 受講履歴の更新、ログアウト	11
(3) サブメニュー	11
(4) メインメニュー	12
(5) 日本弁理士会からのお知らせ	12
(6) 実務修習の制度	12
(7) 実務修習の研修状況	12
2. 受講すべき実務修習課目の確認	15
(1) e-ラーニング研修の場合	15
(2) 起案の提出確認	15
(3) 集合研修の場合	15
3. 修得単位の確認	18
第二編 e-ラーニング受講画面の操作方法.....	20
第一章 受講画面の機能の説明.....	20
1. 受講画面.....	20
2. 目次/進捗状況画面	21
3. 講義資料画面	22
第二章 表示内容の説明（受講の進め方）	23
1. e-ラーニング研修の構成	23

2. 受講を開始する	23
3. 受講する.....	23
(1) ビデオ講義	23
(2) 効果確認.....	24
4. 受講の終了	26
5. 受講の再開	26
6. 課目の修得.....	26
参考1 本システムの利用に必要な動作環境	27
1. ソフトウェア構成	27
2. ハードウェア構成	27
3. インターネット接続環境.....	29
参考2 よくある質問と回答	30
1. システム全般について	30
2. ID、パスワードについて.....	30

第一編 本システムの操作方法

第一章 本システムへのログイン

1. 基本事項

(1) ログインに必要な ID、パスワード

➤ 日本弁理士会より送付された受講アカウント証に記載されている ID、パスワードを用いて「実務修習支援システム」にログインして下さい。

※ID、パスワードを忘れた場合の再発行手続は、P.1 を参照ください。

(2) 実務修習の受講状況を確認できる期間

実務修習の受講者は、実務修習期間中（平成 21 年 12 月 11 日から平成 22 年 3 月 31 日まで）のみ本システムにログイン可能です。

実務修習期間中は、受講可能な課目一覧および修得結果が確認できます（操作方法は後述する）。

(3) e-ラーニング配信期間

e-ラーニング研修は、平成 21 年 12 月 11 日から平成 22 年 2 月 28 日までの期間に受講が可能です（課目名の右に“受講開始”ボタンが表示されている間は受講可能です）。

2. 「実務修習支援システム」へのログイン

(1) ログイン

日本弁理士会のホームページより“実務修習”をクリックする。

図 1-2-1. 日本弁理士会のホームページ

(<http://www.jpaa.or.jp/>)



“実務修習”ページより、“実務修習支援システム”をクリックする。

図 1-2-2. “実務修習”ページ



“実務修習支援システム”をクリックすると、本システムの「ログイン」画面が表示されます。“①ユーザID”と“②パスワード”を入力し、“③ログイン”ボタンをクリックしてください。

図 1-2-3. 「ログイン」画面

弁理士義務研修支援システム／実務修習支援システム

ログイン画面

■ 会員の方へ (弁理士義務研修支援システム)
弁理士義務研修支援システムのユーザIDとパスワードを入力してください。
電子フォーラムのパスワードとは異なりますのでご注意ください。

■ 実務修習の修習生の方へ (実務修習支援システム)
実務修習支援システムのユーザIDとパスワードを入力してください。

① ユーザID
② パスワード
③ ログイン パスワード変更

システムの利用方法はこちら
ユーザID、パスワードをお忘れの方はこちら

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

“①ユーザID”は8桁の半角英数です。“②パスワード”は8～14桁の半角英数です。

図 1-2-4. ID、パスワード入力後の「ログイン」画面

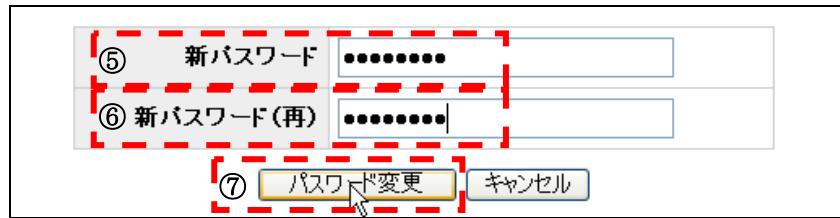
① ユーザID ABC12345
② パスワード *****
③ ログイン ④ パスワード変更

ログイン後は「お知らせ」画面（P.11 以降で説明）が表示されます。

(2) パスワードの変更

パスワードは、図 1-2-4 の “④パスワード変更” ボタンより変更できます。安全のため定期的なパスワードの変更を推奨します。“④パスワード変更” ボタンをクリックするとパスワード変更画面が表示されます。希望する半角英数 8 ~ 14 衝の新パスワードを 2 回 (⑤、⑥) 入力してください。

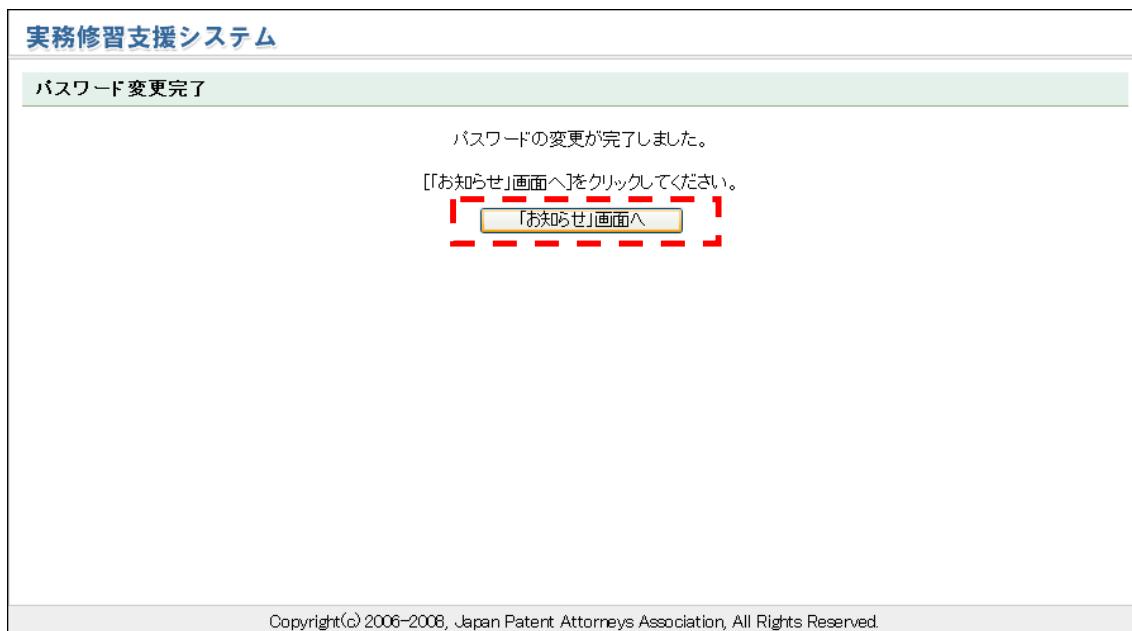
図 1-2-5. 「パスワード変更」画面



新パスワードを入力後、“⑦パスワード変更” ボタンをクリックすると登録完了です。

パスワード変更に成功した場合、以下の画面が表示されます。

図 1-2-6. 「パスワード変更完了」画面

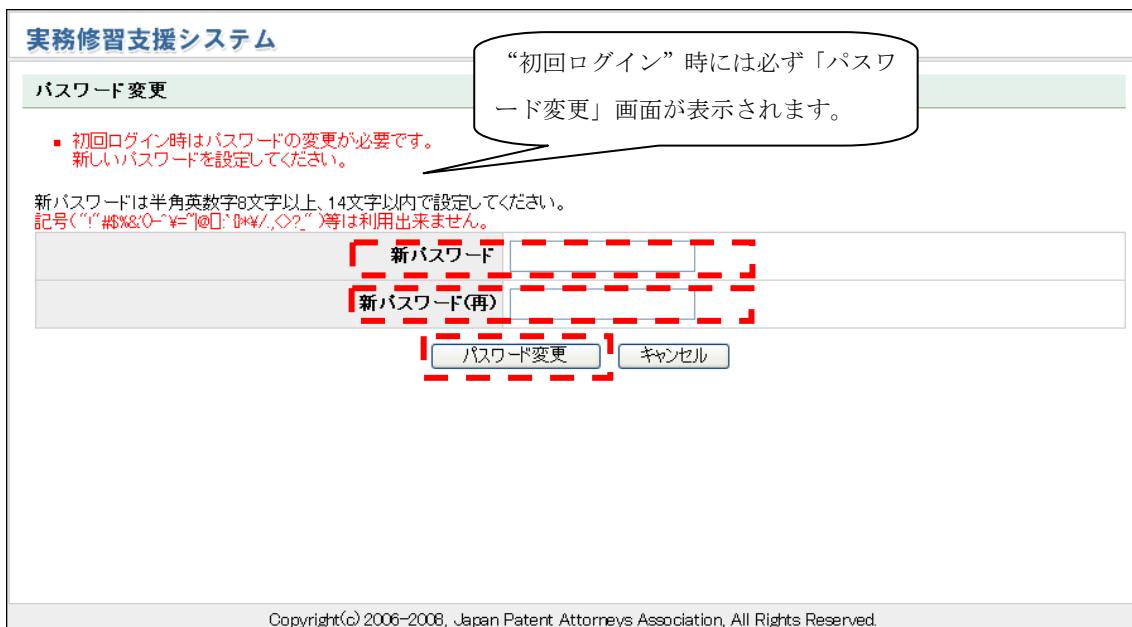


“「お知らせ」画面へ” ボタンをクリックし、「お知らせ」画面を表示させます。

(3) 初めて本システムにログインした場合

日本弁理士会から送付されたユーザ ID、初期パスワードを使って本システムに初めてログインした場合（初回ログイン時）、パスワードが初期状態のため図 1-2-4 の後、下記「パスワード変更」画面が表示されます。本システムではパスワードは受講者が自ら決めたパスワードを使うことと定められています。セキュリティを担保するため、パスワードの変更手順（P. 7）に従い受講者自身が決めたパスワードへ変更してください。

図 1-2-7. 初回ログイン時の「パスワード変更」画面



なお、パスワードには 8 文字以上 14 文字以内の半角英数を用いた覚え易く管理しやすいパスワードを設定し、大切に保管してください。上記画面に表記されているように、記号は使用できませんのでご注意ください。

【ID・パスワードについて】

注意 1：入力ミスにご注意ください。特に大文字・小文字、半角・全角（全角文字はありません）、英字の「I (エル)」と数字の「1 (イチ)」の区別に注意してください。

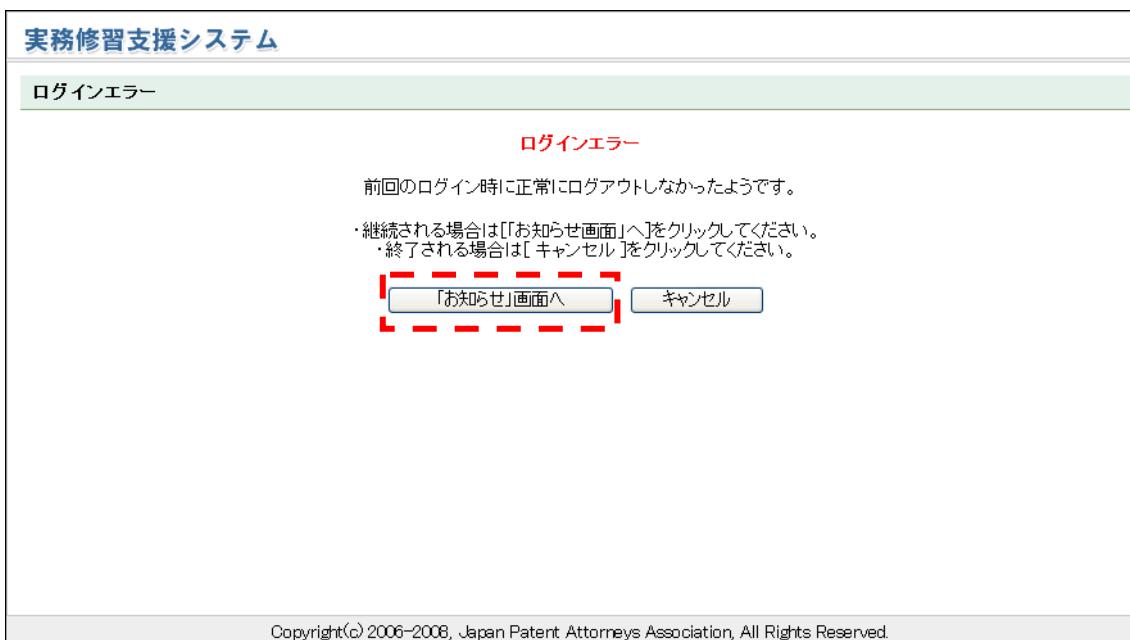
注意 2：ユーザ ID・パスワードが決して他人に漏洩することのないように十分注意してください。他人に貸与したり、譲渡したりすることは、固く禁止されております。

(4) 前回正常にログアウトしなかった場合のログインエラー表示

前回のログイン時に正常にログアウトしなかった場合、その旨の注意のため下記警告メッセージが表示されます。

そのままシステムにログインするためには、「お知らせ」画面へ”ボタンをクリックし「お知らせ」画面を表示させ、システムを利用してください。

図 1-2-8. ログインエラー表示



（5）実務修習期間外の場合のログインエラー表示

実務修習期間外では、実務修習の受講者は本システムにログインできません。下記メッセージが表示された場合、実務修習期間（平成 21 年 12 月 11 日～平成 22 年 3 月 31 日）であるか確認してください。

図 1-2-9. 実務修習期間外の場合のログインエラー表示

弁理士義務研修支援システム／実務修習支援システム

ログイン画面

■ 実務修習期間外のため、ログイン出来ません。

■ 会員の方へ（弁理士義務研修支援システム）
弁理士義務研修支援システムのユーザIDとパスワードを入力してください。
電子フォームのパスワードとは異なりますのでご注意ください。

■ 実務修習の修習生の方へ（実務修習支援システム）
実務修習支援システムのユーザIDとパスワードを入力してください。

ユーザID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

ログイン パスワード変更

システムの利用方法はこちら
ユーザID、パスワードをお忘れの方はこちら

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

第二章 システムの操作方法

1. 「お知らせ」画面

図 2-1-1. 「お知らせ」画面



(1) ユーザ情報

本欄には、受講者の氏名が表示されます。免除を認められた受講者の場合は、受講者氏名の右側に免除された課程が表示されます。

(2) 受講履歴の更新、ログアウト

“受講履歴の更新”は、画面の内容を更新するとき、“ログアウト”は、システムからログアウトするときに使います。

(3) サブメニュー

“システムの利用方法”、“よくある質問”、“お問合せ”の各リンクをクリックすると、各々、システムの最新の利用マニュアルが掲載された画面、よくある質問が記載された画面、問合せ先の電話番号、電子メールアドレスなどが記載された画面が表示されます。

(4) メインメニュー

「お知らせ」、「受講課目」、「実務修習の修得単位」画面に移動できます。

(5) 日本弁理士会からのお知らせ

「実務修習」およびシステムに関する日本弁理士会からのお知らせを表示します。実務修習の研修詳細について重要なお知らせが表示されることがありますので、頻繁に確認するようお願いします。

(6) 実務修習の制度

実務修習の制度について説明されています。

(7) 実務修習の研修状況

上段は実務修習の実施期間を示します。下段は実務修習の修了までの単位数を課程毎に分類し示します。課程の名称はシステム上省略して、表1. の表示名となります。
実務修習の実施期間は、システムにログインできる期間であって、e-ラーニングの配信期間とは異なりますのでご注意ください (P.4 参照)

表1. 課程の説明

項目番号	表示名	課程名
1	弁理士法等	弁理士法及び弁理士の職業倫理
2	特・実	特許及び実用新案に関する理論及び実務
3	意匠	意匠に関する理論及び実務
4	商標	商標に関する理論及び実務
5	条約その他	工業所有権に関する条約その他の弁理士の業務に関する理論及び実務

免除登録が認められた受講者の場合、免除対象課目の単位数が減算され表示されます。免除理由により認められる研修について、表 2 に示します。

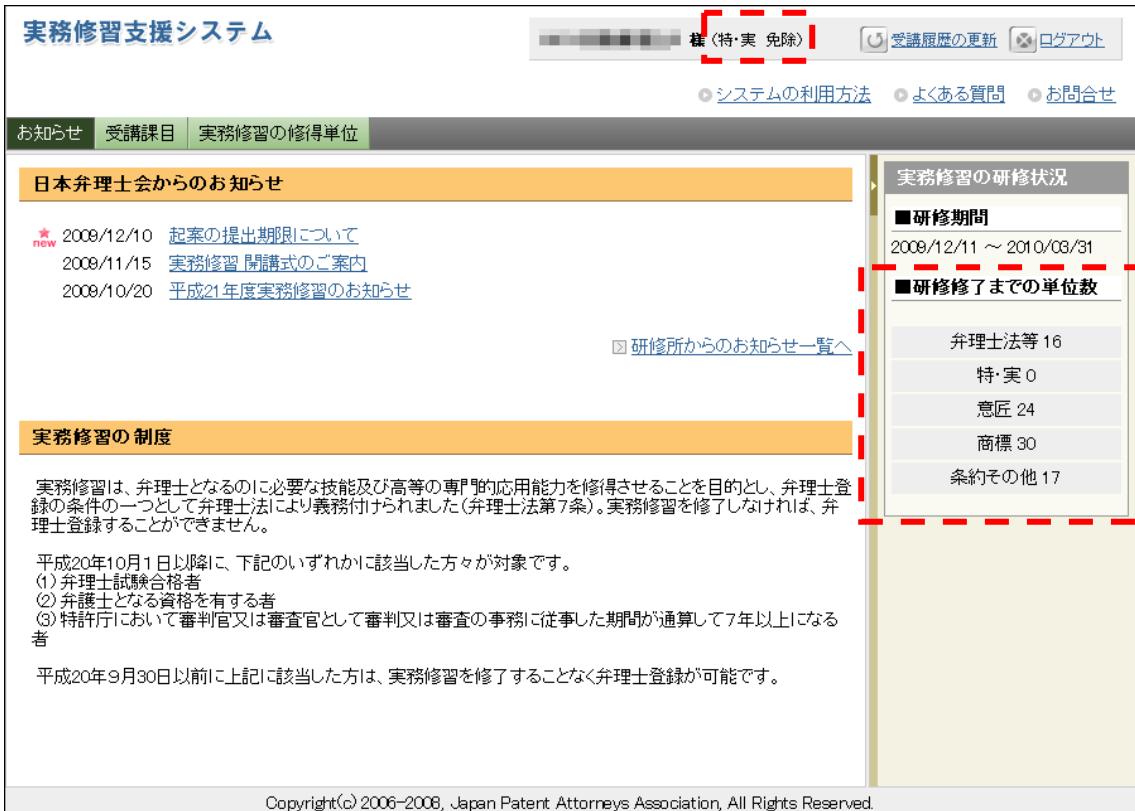
表 2. 免除される課程

項番	免除理由		免除される課程
1	弁理士試験合格者、特許庁経験有資格者	特・実課程で所定の経験を有し、免除を認められた者	特・実課程のすべての課目
2		意匠課程で所定の経験を有し、免除を認められた者	意匠課程のすべての課目
3		商標課程で所定の経験を有し、免除を認められた者	商標課程のすべての課目
4	弁護士資格		弁理士法及び弁理士倫理、弁理士業概論以外のすべての課程※ ¹ （特・実、意匠、商標、条約その他の 4 課程すべての課目）

※ 1 : 弁護士資格による免除の場合、氏名の右横には（特・実、意匠、商標、条約その他免除）と表示されます。

例えば、実務経験があり所定の手続きを経て“特・実”、“意匠”、“商標” いずれかの課程が免除された場合、“特・実”、“意匠”、“商標” 課程の単位が免除となり、該当課程の修了までの単位数は“0”と表示されます。図 2-1-1 では、免除がない場合の例を示しています。“特・実” 課程が免除されている場合、図 2-1-2 のように表示されます。

図 2-1-2. “特・実” 課程が免除されている場合の「お知らせ」画面



実務修習支援システム

権 (特・実 免除) | 受講履歴の更新 | ログアウト

● システムの利用方法 ● よくある質問 ● お問合せ

お知らせ | 受講課目 | 実務修習の修得単位

日本弁理士会からのお知らせ

★ 2009/12/10 起案の提出期限について
2009/11/15 実務修習開講式のご案内
2009/10/20 平成21年度実務修習のお知らせ

実務修習の研修状況

■ 研修期間
2009/12/11 ~ 2010/03/31

■ 研修修了までの単位数

弁理士法等 16
特・実 0
意匠 24
商標 30
条約その他 17

実務修習の制度

実務修習は、弁理士となるのに必要な技能及び高等の専門的応用能力を修得させることを目的とし、弁理士登録の条件の一つとして弁理士法により義務付けられました(弁理士法第7条)。実務修習を修了しなければ、弁理士登録することができません。

平成20年10月1日以降に、下記のいずれかに該当した方々が対象です。

(1) 弁理士試験合格者
(2) 弁護士となる資格を有する者
(3) 特許庁において審判官又は審査官として審判又は審査の事務に従事した期間が通算して7年以上になる者

平成20年9月30日以前に上記に該当した方は、実務修習を修了することなく弁理士登録が可能です。

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

2. 受講すべき実務修習課目の確認

受講可能な実務修習課目は「受講課目」画面にて確認できます。画面はe-ラーニング研修と集合研修に分けて表示されます。(図2-2-1.) (図2-2-2.)

(1) e-ラーニング研修の場合

e-ラーニング研修の場合には、課目の右の“受講開始”ボタンをクリックすることによりe-ラーニングを受講できます。e-ラーニング研修の受講状況には、章毎の進捗状況がチェックボックスにて表示されます。全ての効果確認問題に合格しe-ラーニング研修を修得した場合、その研修の課目名は「受講課目」画面から消え「実務修習の修得単位」画面に“修得日”と共に表示されます。なお、e-ラーニング研修修得直後は、画面右上の“受講履歴の更新”ボタンを押し、サーバより最新のデータに更新しなければe-ラーニング研修の修得を本システム上で確認することはできません。(図2-2-1.)

(2) 起案の提出確認

集合研修を受講するには事前に起案を提出する必要があります。本システムでは起案はe-ラーニング研修の一部として画面下に表示されます。

起案の“受講状況”には2つのチェックボックスが表示されていますが、一つ目のチェックボックスに“チェック”が入っている場合、起案を受理していることを示します。二つ目のチェックボックスに“チェック”が入っている場合、起案が基準を満たしたことを示します。

なお、起案はそれぞれ同じ課目名の集合研修の一環であり、その単位は“0”と表示されます(集合研修を受講し、かつ起案の内容が基準を満たしたときにその課目を修得したことになります)。集合研修を受講した場合であっても、提出された起案の内容が基準を満たしていないければ、再提出を求めます。

再提出になった場合、一つ目のチェックボックスは外され、再提出起案を受理すると再度チェックが入ります。

(3) 集合研修の場合

集合研修の場合には、申請した集合研修が課目毎にすべて表示されます。「コース分け通知」によりお知らせした“コース”および特許課目で選択した“技術分野”であるかどうか内容を確認してください。

集合研修に出席しても、起案が基準を満たしていない場合は課目修得となりません。起案と出席の両方の基準を満たし受講実績が登録された場合、その研修の課目名は「受講課目」画面から消え「実務修習の修得単位」画面に“修得日”と共に表示されます。

図 2-2-1. 「受講課目」画面例

実務修習支援システム

■研修期間 2009/12/11 ~ 2010/03/31
 ■研修修了までの単位数 弁理士法等 16 特・実 57 意匠 24 商標 30 条約その他 17

実務修習(未修得)

e-ラーニング研修・起案

課程	課目	単位	受講状況
弁理士法等	弁理士法 受講開始	6	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
弁理士法等	弁理士倫理 受講開始	4	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
弁理士法等	弁理士業規範 受講開始	6	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	情報調査 受講開始	6	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	PCT出願 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	明細書のあり方(読み方・作成)概論 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	審査基準(産業上の利用可能性、新規性、進歩性等) 受講開始	6	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	クレームの作成・解釈 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	審査対応・概論(意見書・補正書) 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	審査基準(補正の制限) 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	出願手続・概論 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	審査対応・概論(意見書・補正書) 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	審査基準の説明 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	類否判断 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	情報調査 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	マジプロ出願 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	出願手続・概論 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	審査対応・概論(意見書・補正書) 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	審査基準の説明 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	類否判断 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
条約その他	知的財産権に係る施策 受講開始	4	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
条約その他	出願手続(オンライン出願・願書の様式) 受講開始	3	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
条約その他	条約(各國の制度概要を含む) 受講開始	6	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
条約その他	審判の概要 受講開始	4	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	【起案】クレームの作成・解釈の起案	0	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
特・実	【起案】明細書のあり方・演習の起案	0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
特・実	【起案】審査対応・演習の起案	0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	【起案】出願手続・演習の起案	0	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
意匠	【起案】審査対応・演習(類否判断)の起案	0	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	【起案】出願手続・演習の起案	0	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
商標	【起案】審査対応・演習(類否判断)の起案	0	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
集合研修			
課程	課目	単位	開催日
特・実	クレームの作成・解釈 東京金曜(1)	6	2010/01/15
特・実	明細書のあり方・演習(化学) 東京金曜	12	2010/01/22
特・実	審査対応・演習(化学) 東京金曜	12	2010/01/29
意匠	出願手続・演習 東京金曜(1)	6	2010/02/05
意匠	審査対応・演習(類否判断) 東京金曜(1)	6	2010/02/05
商標	出願手続・演習 東京金曜(1)	6	2010/02/19
商標	審査対応・演習(類否判断) 東京金曜(1)	6	2010/02/19

「コース分け通知」によりお知らせした課目かどうか確認ください。

(1) 受講すべきe-ラーニング研修をすべて表示しています。

(2) 「コース分け通知」によりお知らせした課目かどうか確認ください。

(3) 受講開始後、章数に応じチェックボタンが表示されます。

1つ目のチェックボックスは、起案の受理有無
 2つ目のチェックボックスは、起案が基準を満たしているか否かを表示しています。

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

各研修の詳細情報は、課目名をクリックすると別画面により表示されます。下図に例として“弁理士法”の“研修の詳細情報”画面を示します。

図 2-2-2. 「研修の詳細情報」画面

実務修習支援システム	
研修の詳細情報	
研修コード	09BJ01 E1
課目	弁理士法
研修形式	eL
講師	神原 貞昭 氏
開催日	-
開催場所	-
受講料	-
申込期限	-
受講期限	2010/02/28
詳細案内	
参加方法	

[閉じる](#)

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

3. 修得単位の確認

修得単位の詳細は、「実務修習の修得単位」画面に表示されます。e-ラーニング研修を修得した時点、あるいは集合研修の受講実績が登録された時点で「実務修習の修得単位」画面に追加表示されます。図 2-3-1. は、“特・実”課程のすべての課目を修得した場合の「実務修習の修得単位」画面を示します。

既に修得した課目であっても“受講開始”ボタンをクリックすることで、配信期間中であれば何度でも受講することができます。

図 2-3-1. 「実務修習の修得単位」画面例

実務修習支援システム

■ 研修期間 2009/12/11 ~ 2010/03/31
■ 研修修了までの単位数 弁理士法等 16 特・実 0 意匠 24 商標 30 案約その他 17

修得日	課程	形式	課目	単位
2010/02/21	特・実	eL	審査基準(補正の制限) 受講開始	3
2010/01/29	特・実	集合	審査対応・演習(化学) 東京金曜	12
2010/01/29	特・実	eL	【起案】審査対応・演習の起案	0
2010/01/22	特・実	集合	明細書のあり方・演習(化学) 東京金曜	12
2010/01/22	特・実	eL	【起案】明細書のあり方・演習の起案	0
2010/01/15	特・実	集合	クレームの作成・解釈 東京金曜(1)	6
2010/01/15	特・実	eL	【起案】クレームの作成・解釈の起案	0
2010/01/07	特・実	eL	審査対応・概論(意見書・補正書) 受講開始	3
2009/12/30	特・実	eL	クレームの作成・解釈 受講開始	3
2009/12/27	特・実	eL	審査基準(産業上の利用可能性、新規性、進歩性等) 受講開始	6
2009/12/20	特・実	eL	明細書のあり方(読み方・作成)概論 受講開始	3
2009/12/14	特・実	eL	PCT出願 受講開始	3
2009/12/13	特・実	eL	情報調査 受講開始	6
小計				57
合計				57

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

免除を受けた場合、課目免除単位の欄に免除を受けた課目名およびその単位を表示します。免除を受けた場合、「実務修習の取得単位」画面を参照し免除内容について確認できます。図 2-3-2. に“特・実”課程の免除を受けた場合の「実務修習の取得単位」画面を示します。

図 2-3-2. “特・実”課程が免除されている場合の「実務修習の修得単位」画面例

実務修習支援システム

■特・実 免除 | 受講履歴の更新 | ログアウト

システムの利用方法 | よくある質問 | お問合せ

お知らせ | 受講課目 | 実務修習の修得単位

実務修習の研修状況

- 研修期間 2009/12/11 ~ 2010/06/31
- 研修修了までの単位数 弁理士法等 16 特・実 0 意匠 24 商標 30 条約その他 17

実務修習

課目免除単位

認定日	課程	内容	単位
2009/12/11	特・実	情報調査 受講開始	6
2009/12/11	特・実	PCT出願 受講開始	3
2009/12/11	特・実	明細書のあり方(読み方・作成)概論 受講開始	3
2009/12/11	特・実	審査基準(産業上の利用可能性、新規性、進歩性等) 受講開始	6
2009/12/11	特・実	クレームの作成・解釈 受講開始	3
2009/12/11	特・実	クレームの作成・解釈 東京金曜(1)	6
2009/12/11	特・実	明細書のあり方・演習(化学) 東京金曜	12
2009/12/11	特・実	審査対応・概論(意見書・補正書) 受講開始	3
2009/12/11	特・実	審査基準(補正の制限) 受講開始	3
2009/12/11	特・実	審査対応・演習(化学) 東京金曜	12
2009/12/11	特・実	【起案】クレームの作成・解釈の起案	0
2009/12/11	特・実	【起案】明細書のあり方・演習の起案	0
2009/12/11	特・実	【起案】審査対応・演習の起案	0
小計			57
合計			57

Copyright(c) 2006-2008, Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

第二編 e-ラーニング受講画面の操作方法

第一章 受講画面の機能の説明

1. 受講画面

e-ラーニング研修を受講する画面です。受講画面を次に示します。



受講画面の操作ボタンおよび機能について説明します。

①操作ボタン

受講を進めるための基本的な操作を行うボタンです。

	[戻る] ボタン	前の受講画面へ戻ります。 先頭の受講画面には表示されません。
	[進む] ボタン (使用可能の場合)	次の受講画面へ進みます。 末尾の受講画面には表示されません。
	[進む] ボタン (使用不可能の場合)	当該受講画面が未完了の場合は使用できません。(次の受講画面には進めません)
	[目次/進捗状況] ボタン	研修の目次および進捗状況を別ウィンドウに表示します。2.目次/進捗状況画面 (p.19) を参照。
	[講義資料] ボタン	研修で使用する講義資料または参考資料の一覧を別ウィンドウに表示します。3.講義資料画面 (p.20) を参照。
	[終了] ボタン	受講を終了します。

②操作ガイド

進捗状況に合わせたメッセージが表示されます。



③進捗状況

章構成と章毎の進捗状況が表示されます。

第1章	文字が黒：当該章の受講が未完了であることを示します。
第1章	文字が赤：当該章の受講が完了であることを示します。
第1章	背景が橙色：現在、受講中の章であることを示します。

2. 目次/進捗状況画面

e-ラーニング研修の目次と進捗状況が表示されます。目次/進捗状況画面を次に示します。

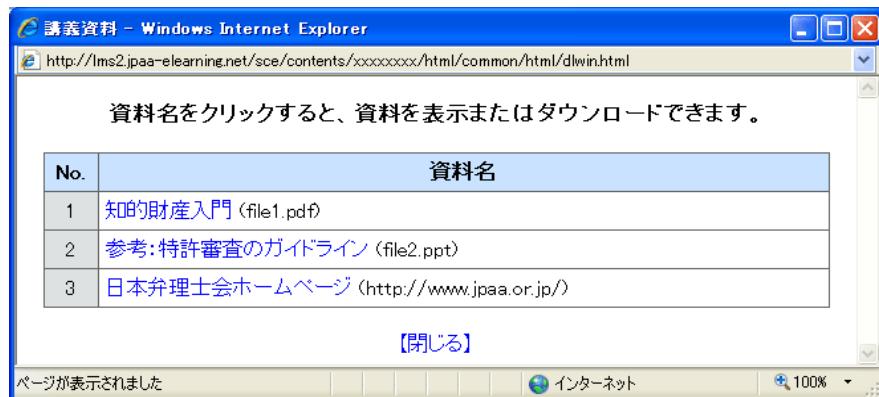
目次		進捗状況	完了日/修了日
第1章	特許 (00分30秒)	完了	2008/04/01 09:05
	効果確認	完了	2008/04/01 09:10
第2章	意匠 (00分10秒)	完了	2008/04/01 09:15
	効果確認	-	-
第3章	商標 (00分10秒)	-	-
	効果確認	-	-
研修の修了状況		未修了	-

表示の意味を以下に示します。

特許 (00分30秒)	文字が黒：当該受講画面へ移動できることを示します。
特許 (00分30秒)	文字が青：当該受講画面へ移動できることを示します。
特許 (00分30秒)	背景が橙色：現在、受講中の受講画面であることを示します。

3. 講義資料画面

e-ラーニング研修で使用する講義資料または参考資料の一覧が表示されます。講義資料画面を次に示します。



The screenshot shows a Windows Internet Explorer window titled "講義資料 - Windows Internet Explorer". The URL in the address bar is <http://lms2.jpaa-elearning.net/sce/contents/xxxxxxxx/html/common/html/dlwin.html>. The main content area displays a table with three rows, each containing a number and a file name. A message at the top of the table says "資料名をクリックすると、資料を表示またはダウンロードできます。" (Clicking the document name will display or download the document). The table has two columns: "No." and "資料名". The data is as follows:

No.	資料名
1	知的財産入門 (file1.pdf)
2	参考:特許審査のガイドライン (file2.ppt)
3	日本弁理士会ホームページ (http://www.jpaa.or.jp/)

At the bottom of the window, there is a message "ページが表示されました" (The page has been displayed), a toolbar with several icons, and a status bar showing "インターネット" (Internet) and "100%".

第二章 表示内容の説明（受講の進め方）

1. e-ラーニング研修の構成

e-ラーニング研修はビデオ講義と効果確認問題の組み合わせによる複数の章から構成されます。章の途中でビデオ講義の受講を終了した場合、又は効果確認問題を解いても所定の正解率を満たさない場合は、その章を完了したことになりません。すべての章の受講を完了することにより課目修得となり、単位を修得できます。

2. 受講を開始する

初めて受講する場合、第1章から受講が開始されます。当該受講画面の受講を完了すると次の受講画面へ移動できます。

3. 受講する

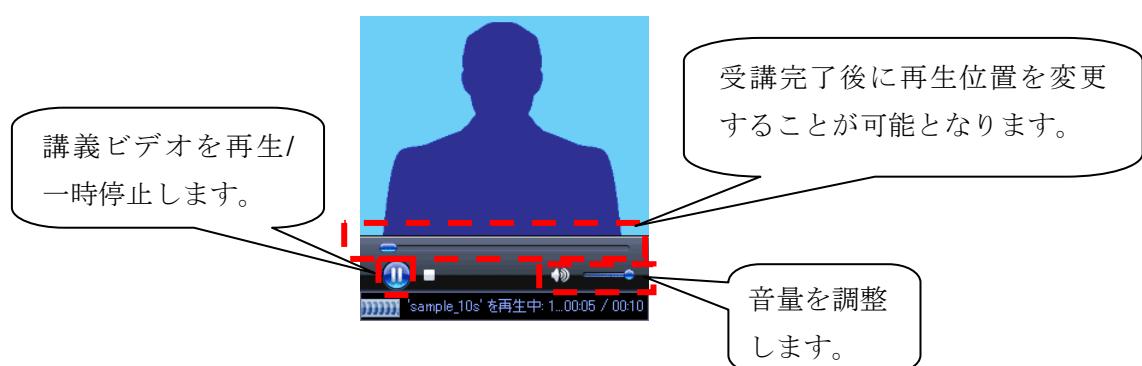
（1）ビデオ講義

ビデオ講義画面では自動的に講義ビデオの再生が開始されます。講義ビデオを最後まで視聴することにより完了となります。



①Windows メディアプレイヤー

講義ビデオは Windows メディアプレイヤーの操作パネルで操作します。



②本章の講義内容

本章の講義内容の詳細を表示します。

■視聴未完了の場合

第2章の講義内容

- 00:00 意匠とは？
- 00:02 他の知的所有権と意匠権
- ▶ 00:04 意匠登録の必要性
- 00:06 図面作成上のポイント
- 00:08 意匠登録までの経過

現在の映像再生位置を示します。

■視聴完了の場合

第2章の講義内容

- 00:00 意匠とは？
- 00:02 他の知的所有権と意匠権
- ▶ 00:04 意匠登録の必要性
- 00:06 図面作成上のポイント
- 00:08 意匠登録までの経過

任意の項目から映像再生を開始します。

視聴が完了すると次のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると次の受講画面へ移動可能となります。



(2) 効果確認

効果確認は、80%以上正解することにより完了となります。

知的財産入門(サンプル) 講師:弁理士郎(弁理士)

操作ガイド: 効果確認を実施してください。合格条件は80%以上の正解です。 合格するまで何度もチャレンジできます。

第1章の効果確認 問題数:5問

問題文に従い正しいものを選択(単一選択または複数選択)してください。
すべての問題に解答したら以下の[採点]ボタンをクリックして採点してください。

②採点ボタン

【第1問】 ①効果確認問題

特許法上の発明に該当するものを、以下の中から一つ選択しない。

- 万有引力の法則
- フォークボールの掛け方
- 天然物から人為的に分離した化学物質
- 彫刻

【第2問】

会社Aが銀行Bから融資を受けて、会社Aの従業員Cが発明を完成した場合、特許を受けることができない者はだれか、以下の中からすべて選択しない。ただし、会社Aと従業員Cとの間では、特許を受ける権利の予約承諾を明記した契約等は存在しない。

- 会社A
- 銀行B

進捗状況 第1章 第2章 第3章 禁無断複製

①効果確認問題

問題形式は多肢単一選択または多肢複数選択となります。

■多肢単一選択形式の場合

- 選択肢 1
- 選択肢 2
- 選択肢 3

ラジオボタンを
一つ選択します。

■多肢複数選択形式の場合

- 選択肢 1
- 選択肢 2
- 選択肢 3

チェックボックスを
複数選択します。

②採点ボタン

効果確認問題に解答後、画面上部または画面下部の【採点】ボタンをクリックすると採点結果が表示されます。

■採点結果が合格条件に満たない場合は【再チャレンジ】ボタンをクリックし、再度解答してください。

知的財産入門(サンプル)

講師:弁理士郎(弁理士)

操作ガイド
効果確認を実施してください。合格条件は80%以上の正解です。
【再チャレンジ】ボタンをクリックすることにより、再度でもチャレンジできます。

第1章の効果確認

問題数: 5問

正解数: 0問(全5問中)

本章を合格するには、4問以上正解することが必要です。
以下の【再チャレンジ】ボタンをクリックして、再度解答してください。

【第1問】
特許法上の発明に該当するものを、以下の中から一つ選択しない。
[再チャレンジ] ボタンを
クリックし、再度解答します。

○ 万有引力の法則
○ フォークボールの投げ方
○ 天然物から人為的に分離した化学物質
○ 彫刻

採点結果 誤答

【第2問】
会社Aが銀行Bから融資を受けて、会社Aの従業員Cが発明を完成した場合、特許を受けることができない者はだれか、以下の中からすべて選択しない。ただし、会社Aと従業員Cとの間では、特許を受ける権利の予約承継を明記した契約等は存在していない

進捗状況 第1章 第2章 第3章 無断複製

- 採点結果が合格条件に達した場合は、次のメッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックすると次の章へ進むことができます。



4. 受講の終了

章の途中で受講を終了する場合は [終了] ボタンをクリックします。

[終了] ボタンをクリックすると e-ラーニング受講画面は閉じます。



5. 受講の再開

再開する時は、「受講課目」画面 (P.14) から目的の課目の“受講開始”ボタンをクリックしてください。前回終了した個所から受講を再開することができます。

6. 課目の修得

すべての章の受講および効果確認を完了すると課目の単位修得となります。



参考1 本システムの利用に必要な動作環境

「実務修習支援システム」を利用するためには、以下の要件を満たすコンピュータおよびインターネット環境が必要です。ご使用されるコンピュータおよびインターネット環境が要件を満たしているかどうかご確認ください。

1. ソフトウェア構成

Microsoft Windows OS のみの対応となっています。
Mac OS、Linux 等、他の OS には対応していません。

- (1)OS : Microsoft Windows 2000 Professional (SP4)以降
Microsoft Windows XP Home Edition (SP3)以降 /
Professional (SP3)以降
Windows Vista Home Basic / Home Premium / Business /
Ultimate / Enterprise (SP1)以降
(Windows7 Home Premium / Professional / Ultimate 予定)
※Windows 95、98、Me 及び NT4.0 では利用できません。
※Windows CE、Windows Mobile では利用できません。
- (2)インターネットブラウザ : Microsoft Internet Explorer 6.0/7.0/8.0(予定)
※ Mozilla Firefox、Opera、Google Chrome 等では利用できません。
- (3)アプリケーション : Windows Media Player 9 (最新版)以降、Adobe Reader 6 以降

2. ハードウェア構成

推奨環境を参考に性能に十分余裕のある PC をご用意ください。

(1)Windows 2000/Windows XP の場合

項目	必須要件／推奨環境
CPU	PentiumIII 600MHz 相当必須／PentiumIII 1GHz 相当以上推奨
メモリ (RAM)	384MB 必須 Windows 2000 SP2 では 512MB 以上推奨 Windows XP SP2 では 1GB 以上推奨
グラフィックシステム	XGA (1024×768、65536 色) 以上必須
ディスプレイ	1024×768 以上の高解像度ディスプレイ必須
ネットワーク	インターネットアクセス機能
その他	キーボード、マウス又はその他のポインティングデバイス、オーディオ出力機能およびスピーカー又はヘッドフォン

(2)Windows Vista Home Basic の場合

項目	必須要件／推奨環境
CPU	Pentium III 800MHz相当必須／Pentium III 1GHz相当以上推奨
メモリ (RAM)	512MB 必須／1GB 以上推奨
グラフィックシステム	DirectX9 対応、32MB のグラフィックメモリ必須
ディスプレイ	1024×768 以上の高解像度ディスプレイ必須
ネットワーク	インターネットアクセス機能
その他	キーボード、マウス又はその他のポインティングデバイス、オーディオ出力機能およびスピーカー又はヘッドフォン

(3)Windows Vista Ultimate、Enterprise、Business、Home Premium の場合

項目	必須要件／推奨環境
CPU	Pentium III 1GHz相当必須／Core2Duo 2.33GHz相当以上推奨
メモリ (RAM)	1GB 必須／2GB 以上推奨
グラフィックシステム	DirectX9 対応、128MB のグラフィックメモリ必須
ディスプレイ	1024×768 以上の高解像度ディスプレイ必須
ネットワーク	インターネットアクセス機能
その他	キーボード、マウス又はその他のポインティングデバイス、オーディオ出力機能およびスピーカー又はヘッドフォン

(4) Windows 7 Home Premium、Professional、Ultimate の場合 (予定)

項目	必須要件／推奨環境
CPU	1GHz 以上の 32 ビット (x86) プロセッサー／ マルチコア (x86, x64) プロセッサー 2.33GHz 相当以上推奨
メモリ (RAM)	1GB 必須 (64bit の場合 2GB 必須) ／ 2 GB 以上推奨
グラフィックシステム	WDDM 1.0 以上のドライバーを搭載した DirectX 9 対応グラフィックス デバイス、128MB のグラフィックメモリ必須
ディスプレイ	1024×768 以上の高解像度ディスプレイ必須
ネットワーク	インターネットアクセス機能
その他	キーボード、マウス又はその他のポインティングデバイス、オーディオ出力機能およびスピーカー又はヘッドフォン

※上記構成は、「実務修習支援システム」の利用に必要な構成です。

「実務修習支援システム」を利用中に同時に他のアプリケーションソフトを利用する場合はより高性能な CPU と大容量メモリが必要となります。

同時に起動しているアプリケーションや、ウィルス対策ソフトなど常駐プログラム、サ

ービスの数によっては、メモリ不足となることがあります。安定した動作のためには同時に起動するプログラムに応じたメモリ増設が必要となることがあります。

3. インターネット接続環境

ブロードバンド環境が必須です。これから導入する場合は、安定した通信のため光回線を推奨します。

ご使用のコンピュータからブロードバンド（CATV、ADSL、光回線）環境でインターネットに実効通信速度 1Mbps 以上（※）で接続できる環境が必要です。これからブロードバンド環境を整備する場合、より安定したアクセスを実現するため光回線の加入をお勧めします。

※実効通信速度：実際にインターネットに接続したときの通信速度です。実効通信速度は、契約コース上の通信速度表記を大幅に下回ることがほとんどですので、ご注意ください。実効通信速度がお分かりにならない方は、目安として「gooスピードテスト」<http://speedtest.goo.ne.jp/> 等で計測ください。

ダイヤルアップ回線（ISDN や一般電話回線）ではご利用できません。

※このマニュアルに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標及び登録商標です。

このマニュアルでは、TM、®は割愛させていただいております。

参考2 よくある質問と回答

1. システム全般について

Q: Windows 環境で Internet Explorer 以外のブラウザでは視聴できないのですか？

A: Internet Explorer 以外のブラウザ（たとえば、Opera、Mozilla Firefox、Google Chrome）では視聴できません。

Q: 各講座のデータ保存は可能ですか？

A: ストリーミング（データを受信すると同時に再生する方式）技術を使用しておりますので、各講義データのダウンロードはできません。

Q: 自宅と会社の2台のパソコンを利用して受講したいのですが可能ですか？

A: 所定の環境さえ満たしていれば、各受講者に配布されるIDとパスワードを用いてどこからでも視聴することができます。

2. ID、パスワードについて

Q: ID・パスワードの変更は可能ですか？

A: IDの変更はできません。

パスワードの変更は可能です。また初めてシステムにログインするときは、必ずパスワードを変更してください。

以上